

生徒個々のニーズに応じた幅広い就労に向けた中高一貫教育カリキュラムの開発

—生徒個々の自立に向けたキャリア教育の実践—

【平成25年度高等部卒業生進路先】

在籍8名
一般就労 1名
就労継続支援B型 4名
生活介護 3名

大学との共同研究体制を活用した実証研究

系統的なキャリア教育

平成26年度高等部

1年 8名
2年 10名
3年 4名

高等部1年生から山形大学小白川キャンパス等での現場実習の実施

平成26年度中学部

1年 6名
2年 5名
3年 6名

高等部作業学習、山形大学等における現場実習の見学（就業体験学習）

平成26年度小学部

1組 6名
2組 5名
3組 5名

高等部作業学習の見学（生活単元学習）

校外学習・就業体験・現場実習を
組み合わせた系統的な小中高一貫
した学習カリキュラムの開発

1 就労支援プログラムの開発研究

- (1) 就労に向けたソーシャルスキルトレーニングの実施と自立活動の学習内容を精選
- (2) 大学の施設設備を活用した共同学習
- (3) ICTを活用した就業に向けた学習内容の開発
- (4) 現場実習や就労体験学習に関連するカリキュラムと教材の開発
- (5) 効果的な現場実習のための教員向け研修プログラムの研究

2 大学と連携した就業機会拡大を図る「デュアルシステム」の実践的研究

3 研修会の企画・実施

授業公開
セミナー等による
研究内容の公開

有効な学習内容の実証的検証に基づくデータ蓄積

山形大学(企業)

就労支援コーディネータの配置

学習内容など学校での研究内容を実証的に検証するための連絡調整などを行う。
平成24年度～25年度12月まで実施した、山形大学での本校卒業生を対象とした就労支援システムにおけるジョブコーチの役割を拡大し、山形大学内での様々な施設、職種から生徒個々の個性に応じた業務内容を開拓し、実習のコーディネートを行う。

<コーディネータの役割>

- ・大学内の様々な職種から生徒の特性に応じた業務内容を提案する。
- ・生徒の実習の調整などを行う。
- ・実習の支援は学校と連携して行う。

障がい者の自立と社会参加を促進させ、研究成果を地域に還元する